

関係を築く力を養うために

～自閉症児との音楽療法から学べることは?～

人が人と関係を築く ーそれは私たちが人と人との繋がりの中で生きるために欠くことのできない能力です。乳幼児期のこの能力の発達は、遊びの能力の発達とともに、子どもが学び成長していく基盤となります。

この講演では子どもの社会性と感情の発達に目を向け、人や物と関係を築くことのできる子どもとそうでない子どものビデオ事例を通して、発達の問題の根本に迫ります。音楽という媒体が重度の自閉症の子どもとの関係性の発達にどのような変化をもたらすか、講師の長年の経験からの事例は皆さんにきっと多くの気づきをもたらすことでしょう。



鏡を挟んで向き合う人

講師



カーリン・シューマッハー氏

ベルリン芸術大学名誉教授

ウィーン国立音楽大学にて音楽療法を、ザルツブルグのモーツアルテウム音楽芸術大学オルフ研究所にて音楽と動きによる教育法を学ぶ。1974年から1982年までベルリンのシュパンダウ小児/青年/成人精神科病院にて専任音楽療法士。1984年にベルリン芸術大学に音楽療法科を設立、1995-2016年同科教授。その間ベルリンの自閉症児支援センターにて音楽療法を実践。現在同大学とウィーン国立音楽大学にて、自身が開発した「AQR: 関係の質評価法」の指導と研究を継続、またスーパーバイザーとして国際的に活躍。

2024年
2月11日(日)
10:00～12:00

相模女子大学
マーガレット本館
2131教室

小田急線相模大野駅より徒歩12分

対象

音楽を使った育児や自閉症児などの発達支援に関心のある方、当事者のご家族の方など

※お子さん連れの方には中継をご覧いただける別室・授乳やおむつ替えができるスペースをご用意いたします。

通訳



鈴木・クプスキー・園子氏

ハーゲン・アンブロック脳神経科病院 音楽療法士

1993年ザルツブルグのモーツアルテウム音楽芸術大学オルフ研究所卒業ディプロマ取得、ドイツのヴィッテン・ヘルデッケ大学音楽療法科卒業ディプロマ取得。1995年から現職。2007年に「AQR法」認定資格取得。ドイツ音楽療法協会公認音楽療法士。

2019年度相模女子大学子育て支援センター主催講演会「自閉症児との音楽療法からかかわりのヒントを学ぶ」講師。

定員 100名(先着順)

参加費 1,000円

※当日受付でお支払いください

お申込み
お問合せ

申し込み期間:2024年1月5日(金)～2月2日(金)

WEBフォームにてお申込み・お問合せください

<https://forms.office.com/r/aUbiSJzQ0m>

